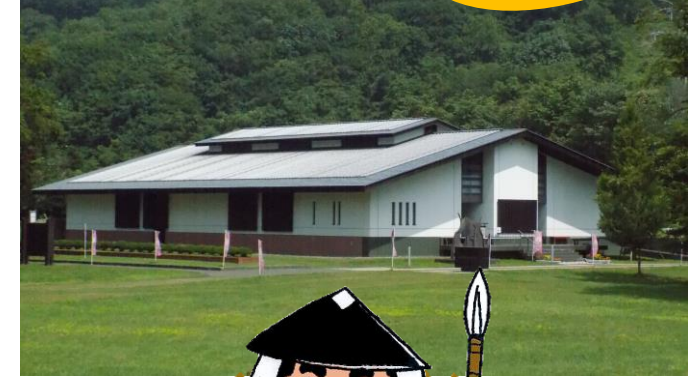


仙台藩白老元陣屋資料館は、昭和59(1984)年に陣屋跡の中に開館しました。武家屋敷をイメージしたテーマ博物館で、藩士たちが仙台から白老に来たいきさつや、陣屋がどのように造られたのか、また、藩士たちの暮らしぶりや先住民族であるアイヌの人たちとの交流などの歴史を、エソ地の絵図面や文書など数多くの資料で紹介しています。

# 仙台藩白老元陣屋資料館



楽しんで観る!

見入感動!

【子ども用リフレット】

かんないかいせつ  
館内解説

4月下旬～11月初旬  
土日祝日限定



陣屋資料館友の会がより詳しく解説します



てんじそうすう  
展示総数

300点

よろいかぶとや江戸時代の  
地図もあるよ!!

せんだいはんしろおもとじんやしりょうかん

☎059-0912

ほっかいどうしろおいくんしろおいちろうじんやちょう ばんち  
北海道白老郡白老町陣屋町681番地4

TEL&FAX 0144-85-2666



# もとじんや イラストマップ

ときどき顔を出します。

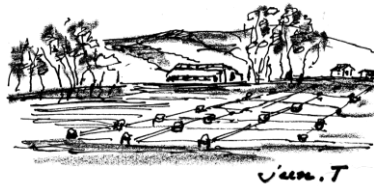
エソシカなどが

キツネやタヌキ、リス、

白老市街地へ  
ウポポイへ



史跡内には160年以上前の赤松をはじめ、サクラ、ナナカマド、ハギ、コブシ、ショウブ、アヤメなどが生い茂っており、散歩が楽しめます



仙台藩白老元陣屋は、北海道がエソと呼ばれていた江戸時代末の安政3(1856)年に、ロシアなどの外国が北海道に攻めてくるのではと判断した江戸幕府が、宮城県にあった仙台藩に命令して造らせました。

仙台藩から来た120人の武士たちは慣れない北国の気候の中で、大変な思いで訓練などをしていましたが、戊辰戦争(江戸幕府がなくなるきっかけとなった戦い)真っ只中の慶応4(1868)年に白老から出て行くことを決めて、12年間続いた仙台藩白老元陣屋はその役目を終えました。

それから110年後の昭和41(1966)年に国の史跡(文化財)として指定された白老仙台藩陣屋跡は、堀割と土塁に囲まれた中心部だけで6万6千平方メートル、東西の川や丘を含むと約35万平方メートルもあります。

## ばしょ



## ごあんない

- 開館時間 午前9:30~午後4:30  
 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は次の日)  
 入館料 ●小中学生150円  
 (20名様以上は団体割引120円)  
 ●高校生以上350円  
 (20名様以上は団体割引250円)  
 ●ウポポイ入場者などは、団体割引で入館出来ます。  
 ●白老町民は無料です。

入館記念にスタンプを押そう